



広報

おぐに

1月

2005 NO.603

早春の白い森フォトコンテスト最優秀作品
「訪春」佐藤 潔氏 (天童市)

みんなの 広場

12/16

置賜森林管理署 新庁舎が完成



置賜森林管理署（小林栄昌署長）の新庁舎が、岩井沢内に完成し、十二月十六日、落成式が行われました。

木造二階建ての新庁舎の床面積は、四百五十四㎡で、総工費は一億七千七百七十四万円。杉やナラなどの木材がふんだんに使われ、自然と調和したつくりになっています。森林管理署は、明治二十五年に開庁されて以来、百年以上にわたり、国有林の保全業務にあたられています。



12/21

全国二万三千九百 二十三点の頂点



財団法人日本鳥類保護連盟が主催する平成十七年度愛鳥週間用ポスター原画コンクールにおいて、小国中学校三年、伊藤成美さんの作品が、中学生部門の最高賞である環境大臣賞に輝きました。

コンクールには、全国から二万三千九百二十三作品が応募。伊藤さんの作品は、県コンクールで、県知事賞を受賞し、全国大会へ推薦されていました。また、同校二年の榎本美波さんも全国入賞されました。

熊供養碑の除幕式が、十一月二十一日、小玉川地区で行われました。この碑は、クマの供養と山の神への感謝の気持ちを表すとともに、マタギの自然への思いを伝えていこうと、小玉川地区の有志の皆さんを中心に実行委員会（舟山堅一委員長）を組織し、完成させたものです。

当日は、高らかなマタギのかちどき「コイズミワ」の声とともに除幕し、完成を祝いました。

11/21

クマと山の神への 思いを碑に



ーこの人に聞くー



小国高校2年
舟山かおりさん

英会話の実践と 異文化に触れ合えた修学旅行

今月は、アメリカへの修学旅行を終えた小国高校2年の舟山かおりさん（五味沢）にその様子を聞きました。

「11月11日から15日にかけてアメリカ・ロスアンゼルスに修学旅行へ行ってきました。2日目には、ベニス高校を訪れ、現地の高校生と交流してきました。そこでは、お互いに10人前後のグループをつくり、校内を見学しましたが、学校で勉強してきた英語が通じ、自信にもつながりました。現在、私は、情報教養コースで週2回、英会話の授業を受けていますが、学校での英語とは違い、発音やイントネーション、そして何より会話の速さに驚きました。

修学旅行を終え、これからは単語の量を増やすことはもちろんのこと、積極的にALT（外国語指導助手）と会話する機会を作り、自分自身の英語力を高めていきたいと考えています。現地の高校生との交流や日本とは違う食べ物、そして生活などをとおして、異文化に触れ合えた修学旅行でした」。

11/19

間宮さんに 全国PTA表彰



間宮尚江さん（小国小坂町）が、十一月十九日、社団法人日本PTA全国協議会の会長賞を受賞されました。
間宮さんは、西置賜地区PTA連絡協議会長および県PTA連合会理事や評議員など

の要職や平成十五年度から小国小学校PTA会長として活躍されています。長年にわたる、学校と保護者の橋渡し役としてPTA活動に尽力されたことが高く評価され、今回の受賞につながりました。

12/11

自然と共生 命の大切さを講演



マタギ文化の講演会が、十二月三日、北部小中学校（横山稔校長）で開催され、地元のマタギである齋藤重美さん（五味沢）が、「北部マタギ文化を知る」と題して講演しました。齋藤さんは、マタギ特

有の「山ことば」や習俗、小さなクマや子連れのクマは獲らないなど、自然と共生していることを強調。集まった中学生や保護者にマタギの文化をとおし、自然や命の尊さを語りかけていました。

小中高一貫教育 白い森学習の成果実る

白い森子ども議会開催

今年で4回目を迎える白い森子ども議会が、11月25日に開催されました。

これは、小中高一貫教育の中の取り組みのひとつで、次代を担う子どもたちの視点から、小国町の将来にかかわる提言をしてもらうとともに、地域社会の一員としての自覚を高めてもらうために開催されたものです。初めて役場議場で開催された子ども議会には、町内の小中学校、小国高校から選ばれた代表20人が出席。環境や福祉などに対するさまざまな考え方を議会形式で提案しました。

お年寄りと 触れ合える場所を



塚原咲希さん
(沖庭小6年)

お年寄りと子どもがもつと身近に触れ合える場を作ってほしいと思います。具体的には、老人ホームと児童館を一緒にしたり、敬老の日にお茶会を開催したりして、お年寄りと触れ合える施設や行事を作ってほしいです。

私の住んでいる沖庭地区では、「沖庭小ゲートボールクラブ」とおして、お年寄りと触れ合う機会がありますが、実際に参加する子どもの数は少ないです。PRにもっと力を入れ、お年寄りと触れ合う楽しさを知ってもらう必要があると思います。

【答弁】町長

町では、高齢者同士の仲間づくりなどや、家の中に閉じこもりつきりにならないよう

にするために、さまざまなことを行っています。塚原さんの提案のように、子どもたちとのふれあいの場をたくさんつくり、多くの人に参加していただけるようにしていきたいと考えています。

また、他の市や町には、老人ホームなどのお年寄りの施設と、保育園や児童館を一緒にしている所もあるようです。沖庭地区の「ゲートボール」のように、行事を通して、子どもたちとお年寄りの交流があることも大切なことだと思います。これからみんなで意見を出し合って、だれもがいきいきと生活していけるようにしていきたいと思っています。

障害を持つ人に やさしい町づくり



石塚秋恵さん
(小国小6年)

私は、ある本をとおして、スウェーデンの福祉に興味を持ちました。スウェーデンで

は、福祉制度が充実しています。また、国内でも福島県会津若松市では、交通バリアフリー法に基づき、駅などの公共施設で段差を解消するなど障害を持つ人にやさしい町づくりが進められています。

そこで、私は、高齢者向けの福祉サービスと障害者向けのサービスを合わせた『高齢者・障害者融合型福祉』の実現をめざし、お年寄りや障害者のかたがたが明るく元気になるかたがたができる町になるよう次の三点を提案します。

- 点字ブロックや音の出る信号機の設定
- 車いす専用の道路やスロープの充実
- 冬期間の除雪、雪下ろし等の大変な仕事へのお手伝い

【答弁】町長

塚原さんから提案いただいた障害者、高齢者の皆さんをはじめ、赤ちゃんからお年寄りまで、すべての人が、使いやすい、住みやすい環境をつ

バリアフリー マップの作成を



永井佳奈さん
(北部中3年)

くっていくことが大切だと考えます。「点字ブロック」や、「音の出る信号機」の設置は、障害を持つ人にとって非常に大切です。車椅子用のスロープの設置なども、これから必要なことだと思いますので、いろいろな人と相談をしてみたいと思います。また、高齢者や障害者に対する手助けだけではなく、小国町の人すべてが明るく元気に暮らすことができる町にしていくことが大切だと思います。

私は、修学旅行で、訪れた東京の専門学校で全国の福祉施設の概要や福祉体系について調査をしてきました。また、修学旅行を終え、町のバリアフリーの状況について調べました。

そこで外国人や高齢者、障



白熱した議論が展開された白い森子ども議会

害をもった方が外出する際に、安心して様々な活動に参加していただけるよう、町内の様々な施設のバリアフリー情報を紹介するバリアフリーマップの作成を提案します。企画段階でお年寄りや外国人の方にも参加してもらい、み

んなで住みよい町づくりをめざしてもらいたいと思います。

【答弁】町長

バリアフリーマップは必要なことだと思いますし、とても便利なものだと考えます。もう一方で、バリアフリーというのとは、地図を作って紹介するだけではなく、多くの人が使用する施設、道路、乗り物、個人の住宅など、居住環境すべてにおいて推進していくことが必要だと考えます。

町内には駅前道路をはじめ、段差の無い歩道や、体育館などにはお年寄りのためのエレベーターの設置がなされています。高齢で体の自由が制限されている人や、障害で普通の生活を送ることが困難な方も、この町に暮らす全ての

の人にとって、健康な人と同じように不便を感じずに生活できるようにになれば、心の段差も解消され、真の意味でのバリアフリーが実現することだと思います。多くの人が福祉に関心を持ち、お互いを尊重

し、支えあいながら暮らすことが、活力あるまちづくりをすすめるための基本であると考えます。

ゴミのないきれいな町に



齋藤良平くん
(白沼中2年)

私たちの学校では、毎年国道清掃を行っています。そこで、町全体がどのような町になるのか考えてみました。



パソコンを使い、発表を後押し

【答弁】町長

一点目は、町民の意識を高め、町全体をきれいにするため、その取り組みを奨励し、紹介することです。また小さな頃から清掃活動に取り組むことで、大人になってもポイ捨てをしなくなると思います。二点目は、ポイ捨て条例をつくり、ゴミを捨てる人に対して罰金を課すことです。そうすることによって、タバコやゴミを捨てる人に効果があると思います。これから私たちの住む小国町がよりきれいになるような活動に取り組んでいきたいです。

国道をはじめとする町内の各道路におけるゴミのポイ捨てについては、町としても頭を痛めています。ゴミのポイ捨てなどは、基本的に一人ひとりのモラルの問題ですので、これを条例で規制しなければ守れないというのは、大変恥ずかしいことだと考えます。条例を制定している他の自治体における効果などを調べ、

検討してみたいと思います。
また、歩きタバコをする人は当然大人ですし、ゴミのポイ捨ても、ほとんどは大人だと考えます。そうした大人にならないことがまず必要ですが、同時に家庭や地域、学校が一体になって地域の美化に取り組むことが、町全体を美しくしていく上で大変効果的ですので、今後とも各地域の環境美化活動を盛り上げていきたいと思っています。

音楽のあふれる町に



高井聡恵さん
(小国中3年)

- 私は音楽が好きなので、音楽をとおしてのまちづくりについて提案したいと思います。
- 小中学生を対象にした音楽教室
- 中高生の合唱・吹奏楽
- 町内で活動しているバンドや音楽サークルのライブ

- さまざまな音楽のジャンルから出演者を募ってのコンサート

場所についても、りふれの能舞台やブナ林、町民総合体育館や総合センターなど、今、小国町にある施設を有効に活用し、自然豊かな環境の利用を提案します。資金も他の団体からの補助金などを活用するほか、町民の手による音楽祭にするためにコンサートの運営ボランティアを町民から募り、実行することも考えられると思います。

【答弁】町長

りふれの能舞台や体育館、そして総合センター、ブナの森など、今ある施設や自然環境を活かし、色々な知恵を出して工夫をすれば、小国らしい音楽や芸術として楽しむことが出来るのではないかと思います。

そして、イベントを仕掛け、実行するのは、行政が動くことも大切だと思いますが、民間のかたがたが自主的に企画

し、盛り上げていくのが良いのではないかと考えます。たくさんの方に色々なアイデアを出していただき、積極的に音楽活動に参加していただければ、もっと大きな盛り上がりとなって「音楽があふれる町」につながっていくのではないかと思います。

小国高校を 存続させるために



齋藤嘉貴くん
(小国高1年)

最近、小国高校がなくなるといった噂が聞こえてくるようになってきました。小国高校がなくなってしまうと、入学を希望している小中学生の行き場がなくなってしまうと思いますし、他の高校へ通学するため



しっかり手を挙げて質問を行う子どもたち

- には列車代や下宿の費用の負担が発生します。そこで、私たちは、今のままでは、小国高校がなくなってしまうと考え、新聞やインターネットをとおして情報を集めたり、小国中学校へのアンケートを行ったりしながら、どのようにしたら中学生が小国高校へ入学してくれるのかを考え、次の四点を町へ提案します。
- 無料の通学専用バスを用意する
- 外国留学を希望する生徒に町が補助金を出す
- 町に戻ってくることを条件に大学進学奨学金を与える

- 町内の企業については、小国高校出身者を優先的に採用する

【答弁】町長

一点目の高校通学のための無料バスについては、通学に関わる負担軽減も含め、何らかの支援策が可能かどうか検討したいと思います。

二点目の外国への留学に対する助成につきましては、小中高一貫教育、特に国際理解教育の成果を発揮してもらう意味で、来年度以降、一、二名の短期留学を支援していく方向で、小国高校と一緒に検討しています。

三点目の大学進学奨学金ですが、町では医師と教員を養成する大学に進学した場合のみ支給しています。その他の大学については、国レベルの制度がありますので、それらを活用していただきたいと思います。

四点目の町内企業への優先採用につきましては、企業は、必要な人材であれば採用し

てくれません。企業から必要とされる高校生に育って欲しいと願っています。

資料による発表

『地域の達人に学ぶ』

渡部剛、渡部知也、宮野友里恵、高橋耕平、鈴木麻都佳

(伊佐領小五・六年)

私たちの伊佐領地区では、昔から「山ゆり」が多く、食用として利用していました。

地域の達人に山ゆりや山菜のことを聞き、調べてみました。また、小国町森林組合の「森



「山ゆり」について地域の方へ質問 (伊佐領小)

のめぐみ」にもうかがい、山菜のことについても勉強しました。そこで、若い人にも山菜を買ってもらうために、料理方法を教えたり、健康への効果を紹介したりすぐに料理できるように加工、販売し、山菜の魅力を広めていくことを提案します。また、伊佐領地区を「山ゆりの里」にしていくために、育て方を紹介するとともに、料理方法も広めていきたいです。

『小国町の

少子高齢社会を考える』

高橋牧人(叶水中三年)

町の高齢化率と人口の変化を調べました。その結果、今後も児童生徒数の減少は続きますが、人数が少ないほど勉強の能率は上がると思うので、現在の学校をそのまま存続してほしいです。

また、施設に入所する高齢者の方も多いことから、介護施設の充実を図ってもらいたいです。施設に入所希望される方もいる一方で、住み慣れ

た地域で生活を希望するお年寄りもいます。既存の公民館の機能を充実させ、複数の医療機関とともにネットワークを結び、地域全体で老人介護の一端を担う地域密着型介護システムの導入を提案します。



普段の授業風景のひとつ (叶水中)

『ゴミ焼きのない

小国町をめざして』

佐藤 学(玉川中三年)

私の住んでいる地区では、家庭でゴミの野焼きをよく見かけます。自然豊かな小国町を守っていくために、次のと

白い森子ども議会のメンバー

- 議長： 舟山 多恵(小国高3年)
舟山恵理香(小国中3年)
書記： 宮野友里恵(伊佐領小6年)
新野 綾香(叶水中3年)
進行： 佐藤 広基(玉川中3年)
藤田 梨紗(小玉川中3年)
議員：※石塚 秋恵(小国小6年)
伊藤 俊也(小国小6年)
※塚原 咲希(沖庭小6年)
高橋 牧人(白沼小6年)
※齋藤 良平(白沼中2年)
武 真祈子(叶水小6年)
渡邊 知美(玉川小6年)
舟山 諒(小玉川小6年)
五十嵐 梓(北部小6年)
※永井 佳奈(北部中3年)
※高井 聡恵(小国中3年)
渡部 怜(小国中3年)
※齋藤 嘉貴(小国高1年)
今 将太(小国高2年)

※印は発表者



『昔から使われている生活の知恵と道具』

藤田梨紗(小玉川中三年)

昔の生活を勉強していくうちに、昔の生活のほうが環境に優しかったり、人とのふれ



インターネットを使つての学習(玉川中)

おり町へ提案します。野焼きをする強い毒性を持つダイオキシンが発生することを町民に知ってもらい、野焼きをしてはいけないなどの呼びかけを実施すべきです。また、ゴミを出しやすくするために、ゴミ袋の値段をもう少し安くし、燃えるゴミの収集日を週一回から二回に増やすなどすれば野焼きをなくすことができると思います。

あいが多かったりと今の暮らしにはあまり見られない良い点があることがわかりました。しかし、現在と比べ、交通面、衛生面で不便な点もいくつかあります。地区のお年寄りからお話を聞き、役に立つ知恵や工夫をこれからもずっと残しておくべきだと思います。そのために、地域のかたがたとふれあいの場を作つて交流し、お年寄りからいろいろなお話をお聞きし、そのことを本やビデオなどで形として残すことを提案します。このことを続けることによって、自分の地域について新たな発見をすることにもつながると考えます。



地区の生活の様子を調査(小玉川中)

十二月定例議会

七議案を審議可決

十二月定例議会が、十二月十日から十五日まで開催されました。今回の議会では、平成十六年度各会計の補正予算や町過疎地域自立促進計画（後期計画）の七議案が審議され、原案どおり可決されました。

一般会計に八千六百九十六万円を追加

一般会計に、八千六百九十六万円を追加しました。この結果、補正後の一般会計予算の総額は、六十五億五千百七十二万円となりました。主な内容は次のとおりです。

▼民間保育所への委託料を追加

民間の保育所にゼロ歳児の入園が大幅に増加したため、民間保育所への委託料を増額

することとし、所要額を措置しました。また、小玉川地区に建設を進めている「マタギ交流施設」の厨房・展示用品などの備品を購入するための経費を追加したほか、叶水地区に整備を計画している「総合交流拠点施設」の用地取得にかかる所要額を措置しました。

▼災害復旧経費を追加

七月十七日の豪雨災害で被害を受けた町道及び河川の復旧について、災害査定の結果を踏まえ実施することになりましたので、所用額を追加しました。

小国町過疎地域自立促進計画（後期）を決定

小国町過疎地域自立促進計画（後期）は、国の過疎地域

自立促進特別措置法に基づき、平成十七年度から二十一年度までの五年間を計画期間とし、その間の過疎対策事業を明らかにしているものです。本町は、昭和四十五年に過疎地域の指定を受けて以来、総合的かつ計画的に過疎対策事業を実施してきました。

現在は、平成十二年に策定した前期計画に基づき、各種まちづくり事業を実施していますが、国、県及び町を取り巻く財政状況は一層厳しさを増しています。こうしたこと

から真に自立し、協働と協創のまちづくりを実現するために、次の五つの柱に沿って各種事業を展開していくこととしています。

- ・ 自主、自立を可能とする地域づくり
- ・ 地域資源活用型産業の創出
- ・ 交流と連携を実現する基盤整備
- ・ 少子、高齢社会に対応した行政サービスの確立
- ・ 山村を担う人材の育成

計画は、議会の議決を経て国に提出し、認定されます。

町選挙管理委員会が総務大臣表彰



小国町選挙管理委員会（仁科清實委員長）が総務大臣表彰を受賞し、12月17日に山形国際交流プラザ（山形市）で開催された選挙啓発公開講座の席上、安部敏県選挙管理委員長より伝達されました。

このたびの表彰は、平成16年7月11日に執行された第20回参議院議員通常選挙において適正な管理執行にあたったことや、投票率向上と明るい選挙推進のための啓発活動を積極的に展開したことが評価されたものです。

新しい年を迎えて

小国町長 小野精一



新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

去年は、全国各地で自然災害に見舞われた年でありましたが、本町でも七月十七日に、近年では羽越水害に次ぐ豪雨災害が発生し、町内各地で被害を受けました。

また、多くの痛ましい被害が発生した新潟県中越地震に対して、多くの義援物資等をお寄せいただきました町民の皆様方に厚くお礼を申し上げますとともに、被災された地域の早期復

旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、迎えた新年は、行財政改革の重点的な推進を図りながら「自立を可能とする地域づくり」を基本に、各種施策を展開してまいります。特に、森林資源の活用や地産地消などによる「地域資源を活用した産業づくり」や環境にやさしい循環型社会の構築を目指した「安全で安心できる基盤づくり」を行ってまいります。また、子育て支援や地域で支え合う福祉社会への「少子高齢社会に対応した暮らしづくり」や、小中高一貫教育の実践や地域文化の継承と交流による「いきいきとした小国人づくり」を目指してまいります。

どうぞ、町民の皆さまをはじめ、関係各位には、まちづくりに更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のあいさついたします。

癒しの園

シリーズ 10

健康考話

町立病院 院長

阿部吉弘



体にいいことを
積み上げよう

明けましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと思います。

「二年の計は元旦にあり」といわれますが、皆さんも今年一年の始まりにあたり、今年の健康生活の計画を立ててみてはいかがでしょうか。

健診を受けていらっしゃる方は多いと思いますが、全項目異常なしという方は少ないのが現状です。健診での多くの異常の原因は、日常生活習慣にある場合が多いようです。この機会に是非、ご自身の生活習慣を見つめていただきたいと思います。身近な生活習慣に問題が潜んでいるかもしれません。

食生活に関しては個々の食品の健康情報が非常に豊富です。しかし、このような情報には、ちよつと注意が必要なきががあります。たとえば、「青魚は体にいい」ということで青魚を多くとると、人によつては肥満の原因となつてしまうことがあります。体によい青魚でも食べ過ぎればカロリーを多く摂取してしまうからです。食生活の基本は、バランスのよい食事を腹八分目に抑えるということでしょう。

昨年、アメリカ大リーグで、イチロー選手がシーズン最多の二百六十二安打を記録しました。テレビのインタビュ番組で、「細かいことを積み上げることでしか頂上には行けない」と最後に述べていました。健康習慣も同じだなあと感じました。皆さんも自分のできる健康によいことを年間間しっかり積み上げていただきたいと思います。

今年も、「癒しの園健康考話」をよろしくご愛読いただきますようお願いいたします。

募集

町営住宅等の入居者募集

■町営住宅

▼幸町団地 2K 2戸

▽対象 同居する親族があり、住宅に困っているかたで、前年度所得額が月額二十万円以下のかた

■勤労者住宅

▼小坂町1号棟 2K 2戸

(家賃三万三千円)

▽対象 小国町内で働いているかた

■募集期間

1月5日(水) ~ 12日(水)

■入居時期

2月上旬

■敷金

家賃の3カ月分

■問合先

地域整備課へ

アルペンスキー教室 参加者募集

■日時

1月22日(土)から2月19日(土)までの期間で、毎週土曜日(計5回) 午後2時30分~4時30分

■場所

横根スキー場

■対象者

小学生

■定員

低学年30名(原則として保護者同伴)、高学年10名

2005年 農林業センサスにご協力ください

わが国の農林業や、農山村地域の実態を明らかにし、今後の農林業の政策に役立てるために、全国一斉に「2005年農林業センサス」を実施します。

この調査は農林業の国勢調査といわれ、5年ごとに実施される極めて大切な調査です。

農林業関係者のかたがたのところへ調査員が伺います。

調査へのご協力をお願いいたします。

■調査日 平成17年2月1日現在

■調査対象 農林業を営む、一定条件を満たすかた

■調査方法 1月中旬から調査員が訪問し、調査票を配布します。

■問合先 総務企画課へ

※予定人数を超えた場合は、抽選となります。

■講師 小国スキークラブ指導員およびスキー指導技術者有するかた

■保険料 小学生五百円、保護者千五百円

■参加料 無料

※ただしリフト券は各自購入

■申込期限 1月18日(火) 午後5時

■申込方法 町民体育館に用意している申込書に、必要事項を記入して申し込んでください。

■申込・問合先 町民体育館(☎62-5421)へ

手編み教室受講生募集

■日時 2月28日までの毎週水曜日、金曜日のうち、希望する日時(講習は3回で、1回につき2時間)

■場所 本間弘子さん自宅

■費用 千五百円(毛糸代は含みません)

■内容 マフラー、帽子、マールレットの手編み講習

■対象者 手編みの初心者のかた

■申込方法 電話で希望する日時を予約してください。

■申込・問合先 本間弘子さん(☎62-5630)へ

第4級アマチュア無線技士養成課程講習会受講者募集

講習の受講時間が大幅に短縮され、2回の受講でアマチュア無線の資格が取得できます。

■日時 2月5日(土)午前9時~午後4時30分、6日(日)午前9時30分~午後5時30分

■場所 長井市民文化会館

■定員 30名(定員になり次第、受付終了になります)

■受講料 二万二千七百五十円(教科書、問題集、免許申請料を含みます)

■申込期限 1月29日(日)

■申込方法 電話で申し込んでください。

■申込・問合先 柴田重博さん(☎62-2067)へ

学生寄宿舎「東京興譲館」寮生募集

■入寮資格 置賜地方在住のかた、または出身者の子弟のかたで、東京および東京近郊の大学に進学する男子のかた(大学第1学年在学のかたも可)

■募集人員 6名程度

■提出書類 東京興譲館入寮

願書(指定用紙)、高校全学年の学業等に関する調査書、写真、父兄の源泉徴収票または所得証明書、大学1年在学のかたについては、ほかに大学の在学証明書

■書類提出期限

▼1回目 3月10日(木)必着

▼2回目 3月19日(土)必着

※合格発表の関係で、書類の提出が間に合わない場合は、電話連絡のうえ、選考日に持参してください。

■選考日時

▼1回目 3月12日(土) 午後1時30分

▼2回目 3月20日(日) 午後1時30分

■書類送付先

〒182-0004 東京都調布市入間町1-36 東京興譲館館長(☎03-3309-3302)へ

■問合先 米沢市役所内「米沢有為会米沢支部」(☎02-38-225111)へ

催し

白い森情報センター「体験教室」

■「わくわくスノーランド」

相談

年金相談

- 日程 1月19日(火)
- 受付 10:30~14:30
- 場所 役場町民相談室
- 内容 年金に関すること
- 問合先 町民課へ

にここ相談

- 日時 2月8日(火)
- 場所 置賜生涯学習プラザ(長井市)
- 内容 子どもの発達に関する相談
- その他 障害の心配のある幼児、児童、生徒とその保護者のかた
- 費用 無料
- 申込期限 1月25日(火)
- 申込・問合先 県教育センター発達相談受付
専用電話(☎023-654-6060)へ

総合センターから

新刊図書

- ◆うずらちゃんのかくれんぼ
きもと ももこ
キヨノ サチコ
- ◆ノンタン 1・2・3
柴田 よしき
- ◆聖なる黑夜
柴田 脩介
- ◆犯人に告ぐ
雫井 脩介
- ◆火のみち 上下
乃南 アサ
- ◆天使と悪魔 上下
ダン・ブラウン
- ◆チルドレン
伊坂 幸太郎
- ◆岐かれ路
坂東 真砂子
- ◆キッパリ、たった5分で自分を変える本
上岡 トメ

- ◆ハウルの動く城2
ダイアナ・ウィン・ジョーンズ

※ほか多数入荷しました。

一図書館の開館時間一

午前9時30分から午後6時まで

- ▼日時 1月22日(土)午前9時~午後5時
- ▼場所 飯豊少年自然の家
- ※町からバスが出ます。
- ▼内容 タイヤチューブすべり、竹かんじき作り、雪山ウォーキングなど
- ▼対象者 小学1~6年生、またはその保護者のかた
- ▼定員 20名
- ▼参加費 五百円(保険料、食事代)、材料費千五百円
- ※親子で参加される場合は、保護者のかたの材料費は不要です。
- ▼申込期限 1月11日(火)
- ▼日時 2月5日(土)午前

- ▼日時 2月10日(木)、24日(火)
- ▼場所 置賜総合支庁西庁舎
- ▼内容 総合センター陶芸教室、抹茶教室
- ▼対象者 小学1~6年生、またはその保護者のかた
- ▼定員 30名
- ▼参加費 六百円(保険料、粘土代、茶菓子代)
- ▼申込期限 2月1日(火)
- ▼申込・問合先 教育委員会事務局へ

- ▼日時 1月30日(日)午後1時30分開場
- ▼場所 米沢興譲館高校吹奏楽コンサート
- ▼内容 地場産の米と大豆を使ったみその仕込みを体験します。
- ▼募集人員 先着30名(2日間とも参加できるかた)
- ▼参加費 二千円
- ▼申込期間 1月13日(木)~31日(月)
- ▼その他 詳細については、申込みしたかたに別途連絡します。
- ▼申込・問合先 西置賜農業普及課(☎88-5111)へ

- ▼場所 伝国の杜 置賜文化ホール(米沢市)
- ▼入場料 無料
- ▼問合先 米沢興譲館高校(☎0238-38-4741)へ
- ▼指名競争入札参加登録申請 平成17年度、18年度に行う建設工事、設計・測量コンサルタント、物品納入、および役務提供の指名競争入札参加の登録申請を受け付けます。

ご案内

- ▼受付期間 2月1日(火)~28日(月)
- ▼申請方法 電話または郵送(当日消印有効)で申請してください。
- ※詳細については、12月15日号の「広域広報おきたま」または組合ホームページでもお知らせしています。
- ▼申請・問合先 米沢市金池三丁目1-55 置賜広域行政事務組合総務課庶務係(☎0238-23-3246)へ

不動産競売

- ▼物件 米沢市ほかの市町村の宅地など約30件
- ▼物件閲覧期間 1月13日(木)まで
- ▼非農地物件 1月13日(木)まで
- ▼農地物件 2月10日(木)まで
- ▼入札期間 1月6日(木)~13日(木)午後5時まで
- ▼農地物件 2月3日(木)~10日(木)午後5時まで
- ▼物件閲覧・入札場所 山形地方裁判所米沢支部
- ▼開札日時 1月20日(木)午前10時
- ▼非農地物件 1月20日(木)午前10時

▼農地物件 2月17日(木) 午前10時

■問合先 山形地方裁判所米沢支部 (☎0238-22165) へ

子育て支援センターから

▽『あそびの広場』

■日程 1月18日(火)、25日(火)子育て講座(ママへのメッセージ)、2月1日(火)、8日(火)

■時間 10時～11時30分

■場所 健康管理センター

▽『なかよし広場』

■日程と場所
▼1月20日(木)、2月3日(木) 総合センター交流室
▼1月27日(木)、2月10日(木) おぐに保育園

■時間 10時～11時30分

▽『子ども愛ランド』

■日時 2月19日(土) 9時30分～12時30分

■場所 健康管理センター
■内容 親子で草もち作り、人形劇(おぐに保育園保育士)

※詳しいことは、子育て支援センター(☎62-2330)へ

保健カレンダー

月 日	乳 幼 児 健 診	受 付 時 間	対 象	場 所
2/23	2歳児歯科健康診査	13:00～13:15	14年6～8月生まれ	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳、問診票 (3カ月児、1歳児健康診査は除く)
2/25	3カ月児健康診査		16年11月生まれ	
	1歳児健康診査		16年2月生まれ	

■問合先 健康福祉課へ

求人情報

左の表は、12月14日現在の新規求人の内容です。無効になっている場合もありますのでご了承ください。このほかの求人情報は、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

西置賜就職面談会開催

仕事を探しているかたと地元企業の面談会を開催します。事前の申込みは不要ですので、一般のかたおよび3月卒業予定の学生のかたは、気軽に参加してください。(高校生のかたは学校を通して申し込んで下さい)

■日 時 2月10日(木) 午後1時30分～4時
■場 所 タスパークホテル(長井市)
■問合先 長井公共職業安定所 (☎84-8609) へ

職場におけるセクシャルハラスメント防止対策が義務付けられています

業種や規模にかかわらず、すべての事業主に、職場におけるセクシャルハラスメント防止対策が義務付けられています。

■問合先 山形労働局雇用均等室 (☎023-624-8228) へ

事業所名	求人数	職 種	年 齢	就業時間
山 和 建 設 (株)	2人	土木施工管理技士、土木作業員	30～50	8:00～17:00
大 河 内 産 業 (有)	3人	ダンプ運転手、事務員	不問	8:00～17:00
遠 藤 建 設 (株)	2人	土木技術員	25～45	8:00～17:00
(株)横 川 建 設	6人	土木施工管理技士、重機オペレーター、分別事務員、営業	18～50	8:00～17:00
(株)アイライン山形支店	3人	オペレーター	不問	8:30～16:40ほか
ハ イ コ ー (株)	2人	電気工事	18～40	8:00～17:00
(株)ジェイエーサービスおきたま	1人	給油業務員	20～40	8:00～16:45ほか
(株)トーコー新潟支店	10人	電子部品製造	18～50	8:30～16:40ほか
(株)トーコー庄内営業所	5人	電子部品製造	18～50	8:30～16:40ほか
(株)ネオテクノ山形営業所	4人	電子回路評価、生産管理	不問	9:00～17:45
聖翔株式会社ソーシング事業部山形営業所	8人	機械設計	不問	9:00～18:00
アベプラニング	2人	サービススタッフ	不問	8:00～17:00
日本総合サービス(株)北陸事務所	1人	運転手	不問	8:15～17:15
(有)メディアサービス	1人	事務、営業	18～25	8:00～18:00週の4時間
朝日生命保険相互会社長井営業所	5人	保険営業	25～55	9:10～16:50
第一生命保険相互会社坂町支部	5人	保険営業	25～50	9:00～17:00
アクサ生命保険株式会社長井分室	5人	保険営業	不問	9:15～17:00
(有)コンズカンパニー	2人	パチンコホールスタッフ	18～40	8:00～17:30ほか
(有)新設・河原角農畜産物加工施設	3人	農産物加工	18～40	8:00～17:00
(株)小 国 製 麺	2人	麺製造	18～45	8:00～17:00
(株)肉 の 白 萩 屋	2人	精肉加工員、店員	20～45	11:00～20:00ほか
カインドネス(有)おぐに調剤薬局	1人	薬剤師	不問	9:00～18:30
(有)白い森調剤薬局	1人	薬剤師	不問	9:00～16:00ほか

平成16年12月1日から平成19年11月30日までを任期とする小国町民生委員・児童委員に、次のかたがたが決まりました。

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣より委嘱を受けているもので、担当地域を定めて主に次のような仕事をしています。

- ①担当地域内の各家庭について、生活状態などを把握する。
- ②社会福祉事業施設と密接に連絡し、その機

能を助ける。

- ③保護を要するかたを適切に保護指導する。
- ④福祉事務所など関係行政機関の業務に協力する。

高齢者や児童、生活などの問題で困っているかたは、お気軽に相談してください。

なお、今回の改選にあわせて、担当地区が変更となりましたのでご注意ください。

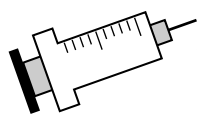
■問合せ先 健康福祉課へ

■民生委員・児童委員名簿

番号	氏 名	担当地区名
1	馬 場 高 子	坂町1.2
2	鈴 木 桂 樹	坂町3.5、玉川口
3	佐 藤 長 門	本町1.2.3
4	須 貝 タ ミ	栄町1.2、小国町1
5	柴 田 重 博	小国町2、駅前1.2
6	佐 藤 よし子	緑町1.2
7	大 友 昭 男	地蔵町
8	羽 田 みえ子	岩井沢1、平林
9	伊 藤 満 司	あけぼの
10	阿 部 正	岩井沢2、上岩井沢
11	岩 崎 三 郎	兵庫館1
12	佐 野 恵 子	兵庫館2
13	朝 妻 桂次郎	種沢、大滝、杉沢
14	後 藤 美代子	松岡、黒沢
15	加 藤 忠	東原、町原
16	木 村 大 和	伊佐領、綱木箱口
17	舟 山 政 司	北、旭町
18	伊 藤 孝太郎	田沢頭
19	吉 岡 元 昭	増岡
20	渡 部 幸 雄	西、小芦、若竹寮
21	土 屋 民 男	幸町1.2
22	遠 藤 胤 睦	大宮、宮の台

番号	氏 名	担当地区名
23	和 田 堅 吉	館、小渡
24	安 達 静 子	若山、古田、金目
25	大河原 一 男	沼沢の一部、間瀬、白子沢
26	丹 健 治	沼沢、明沢
27	渡 部 甚 作	玉川、玉川新田
28	佐 藤 二 男	市野沢、足野水
29	佐 藤 良 弘	足水中里、百子沢、樽口
30	本 間 堅 策	小玉川、長者原、泉岡
31	舟 山 小三郎	片貝、玉川中里、中田山崎
32	今 秀 子	舟渡
33	貝 沼 清 子	尻無沢、今市
34	安 部 新太郎	越中里、長沢
35	山 口 英 彦	六ヶ字
36	安 部 喜 一	三ヶ字
37	齋 藤 力 男	五味沢、石滝
38	伊 藤 正 夫	上叶水、下叶水
39	山 口 鐵 雄	上大石沢、下大石沢
40	渡 部 長 一	新股、河原角
41	横 山 とよ子	主任児童委員
42	齋 藤 参 子	主任児童委員
43	加 藤 美恵子	主任児童委員

新しい民生委員・児童委員が決まりました



BCG接種が変わります



平成17年4月1日から、結核予防法および結核予防法施行令の一部改正により、BCG接種の方法が大きく変わります。現在、4歳未満の乳幼児のうち、ツベルクリン反応が陰性のかたに対しBCG接種が行われていますが、ツベルクリン反応検査が廃止され、BCG接種のみとなります。接種時期については、生後6カ月までとなります。

これにより、BCG接種をまだ受けていないお子さんと、生後6カ月を超える場合は、4月以降、BCG接種が受けられなくなります。必ず今年度中に、下記日程にあわせて受けるようにしてください。

■接種日程

日 程	接 種 内 容	対 象 者
1月19日(水)	ツベルクリン接種	16年7～9月生まれ 13年1月22日～16年6月生まれで未接種のかた
21日(金)	判定、BCG接種	
3月16日(水)	ツベルクリン接種	16年10～12月18日生まれ 13年3月19日～16年9月生まれで未接種のかた
18日(金)	判定、BCG接種	

■問合せ先 健康福祉課へ

その一票
未来の花を
咲かす種

1月23日(日)は、

山形県知事選挙の投票日です。

任期満了に伴う山形県知事選挙が1月23日(日)に行われます。

○告示と投票日

■告示日 1月6日(木)

■投票日 1月23日(日)

○投票できるかた

■投票日当日で満20歳以上のかた(昭和60年1月24日以前に生まれたかた)

■平成16年10月5日以前から引き続き山形県内に住所を有するかた

○期日前投票は、1月7日から

投票日当日に不在になるかたは、期日前投票を済ませ、一人も棄権することのないようにしましょう。期日前投票は、「宣誓書兼投票用紙等請求書」に記入いただくだけで、後は、投票所で投票するときと同じように投票できます。印鑑は不要ですが、入場券を

忘れずに持参してください。

■期間 1月7日(金)から22日(土)まで

■時間 午前8時30分から午後8時まで

■場所 役場3階庁議室(選挙管理委員会事務室)

○各種不在者投票制度もあります。

■郵便による不在者投票

身体障害者手帳や介護保険の被保険者証の交付を受けているかたで、一定の要件に該当するかたは、郵便による不在者投票ができます。郵便による投票をされる際は、早めに手続きを行ってください。

■町外に滞在されているかたの不在者投票

住所は小国町にあるが、仕事や学業などのため町外に滞在している方は、現在お住まいの市町村で不在者投票をすることができます。

■病院や老人ホームなどでの不在者投票

選挙当日、病院や老人ホーム等の施設に入院・入所されている方で、その施設が、不在者投票指定施設であれば、そこで投票することができます。

※不在者投票の手続きなどについては、選挙管理委員会にお問い合わせください。

○開票は、即日

開票は、投票日当日の午後9時からおぐに開発総合センターで行います。参観に来られる方は、開票所内の秩序維持にご協力ください。

※詳しいことは、町選挙管理委員会(☎62-2111事務局小国町役場内)に問い合わせください。

18カ所の投票所で閉鎖時刻を1時間繰り上げます。

投票は、午前7時からできます。

終了時間は、投票日が、小国町でもっとも雪が多く降る季節であることから、次の18カ所の投票所では、午後7時までとします。

- 第6投票所 大滝公民館
- 第7投票所 松岡農事集会所
- 第8投票所 伊佐領小学校
- 第9投票所 沖庭小学校
- 第10投票所 金目そばの館
- 第11投票所 今市活性化センター
- 第12投票所 あさひ保育園
- 第13投票所 北部小学校
- 第14投票所 五味沢活性化センター
- 第15投票所 玉川高齢者コミュニティセンター
- 第16投票所 足野水きのか園管理所
- 第17投票所 足中克雪管理センター
- 第18投票所 小玉川小学校
- 第19投票所 中田山崎部落公民館
- 第20投票所 叶水保育園
- 第21投票所 河原角観光わらび園管理所
- 第22投票所 白子沢自治公民館
- 第23投票所 沼沢部落公民館

※第1投票所(小国小学校)、第2投票所(小国中学校)、第3投票所(白い森ショッピングセンターアスモ)、第4投票所(電興(株)社寮)、第5投票所(宮の森会館)は、午後8時までの投票時間となります。

小国町指名競争入札 参加申請の受付

町が行う建設工事、測量、物品購入などの指名競争入札参加を希望されるかたは、次のとおり申請してください。

- 受付期間 1月17日(月)～2月25日(金)
- 受付時間 午前9時～12時 午後1時～4時
- 有効期間 平成17～18年度(ただし、町内業者のかたは平成17年度)
- その他 これまでの申請様式が変更されました。必要書類などの詳細については、電話で確認してください。
- 問合せ先 地域整備課へ

応募締切迫る!!

新町50周年記念

『白い森 おぐにフォトコンテスト』

- テーマ 町の自然、景観、風景、町のイベント
- 部門および規格 ①一般の部 4ツ切サイズ
②町民の部 2L～4ツ切サイズ
- その他 町民のかたでも一般の部に応募できます。応募点数は1人5点までとします。白黒、カラーは問いません。ワイド4ツ切、台紙貼り、パネル貼りしたものは不可とします。
- 応募締切 1月21日(金)必着
- 応募方法 応募票に必要事項を記入し、写真の裏に貼付して申し込んでください。
- 申込・問合せ先 産業振興課へ

■申請・問合せ先

町民課へ

こんなとき	申請に必要なもの
急病などで保険証を持たずに診療を受けたとき	診察内容の明細書、領収書、保険証、印かん、口座番号
コルセットなどの治療用補装具を購入したとき	補装具を必要とした医師の証明書、領収書、保険証、印かん、口座番号
骨折やねんざなどで国民健康保険を扱っていない接骨院にかかったとき	施術内容と費用の明細な領収書など、保険証、印かん、口座番号
医師が必要と認めた、はり、きゅう、マッサージを受けたとき	医師の同意書、施術内容と費用の明細な領収書など、保険証、印かん、口座番号
輸血のため生血代を負担したとき	医師の理由書または診断書、輸血用生血液受領書、血液提供者の領収書、保険証、印かん、口座番号
海外渡航中に診療を受けたとき	診療内容明細書と領収明細書(外国語の場合は翻訳文を添付)、保険証、印かん、口座番号

国民健康保険
から
お知らせ

いったん全額自己負担したとき
(療養費の支給)

療養費を全額自己負担したときでも、次のような場合には、申請によって自己負担分を除いた額があとで支給されます。

ふれあいほっとライン

★家庭教育電話相談★

子育てや教育について不安や悩みを感じているかたは、1人で悩まず、気軽に相談してください。

■受付日時

月曜日～金曜日 9:00～16:00
※土曜日、日曜日、および祝日、年末年始は、留守番電話またはFAX(023-630-2874)で対応しています。

■相談・問合せ先

山形県教育庁社会教育課
(☎023-630-2874) へ

国民年金からの
お知らせ

免除を受けた保険料は追納できます

免除期間	追納額(円)
6年度	16,080
7年度	16,080
8年度	16,010
9年度	15,800
10年度	15,560
11年度	14,960
12年度	14,390
13年度	13,830
14年度	13,300
15年度	13,300

国民年金保険料の免除を受けた期間は、老齢基礎年金が3分の1に減額されます。そこで、将来、保険料を納めることができるようになったときには、満額の年金を受けとるために、免除期間分の保険料を10年前までさかのぼって納める(追納する)ことができます。

追納する保険料の額は、免除を受けた当時の保険料の額に、政令で定められた一定の率をかけて算出した額を加算した額になります。

なお、平成16年度中に追納する額は、左の表のとおりです。

■問合せ先 町民課へ

7 職員手当の状況

区 分	小 国 町			国		
期末手当 勤勉手当		期末手当	勤勉手当		期末手当	勤勉手当
	6 月期	1.40月分	0.70月分	6 月期	1.40月分	0.70月分
	12月期	1.60月分	0.70月分	12月期	1.60月分	0.70月分
	計	3.00月分	1.40月分	計	3.00月分	1.40月分
	職制上の段階、職務の級等による加算措置 有			職制上の段階、職務の級等による加算措置 有		
扶養手当	配偶者 13,500円/月 一般の扶養親族のうち 2 人までが6,000円（扶養親族でない配偶者がある場合、うち 1 人のみ6,500円、配偶者がいない場合、うち 1 人のみ11,000円） その他 1 人につき5,000円、扶養親族たる子のうち満16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子につき5,000円加算					
住居手当	借家 限度額27,000円/月 持家 3,000円/月			借家 限度額27,000円/月 持家 1,000円/月（新築から 5 年までは2,500円/月）		
通勤手当	交通機関利用（運賃相当額） 限度額55,000円/月 交通用具使用（自家用車等） 片道 2 km以上の者に支給限度額30,900円/月			交通機関利用（運賃相当額） 限度額55,000円/月 交通用具使用（自家用車等） 限度額20,900円/月		

（平成16年 4 月 1 日現在）

	小 国 町			国		
退職手当	（支給率）	自己都合	勸奨・定年	（支給率）	自己都合	勸奨・定年
	勤続20年	21.0 月分	27.3 月分	勤続20年	21.0 月分	27.3 月分
	勤続25年	33.75月分	42.12月分	勤続25年	33.75月分	42.12月分
	勤続35年	47.5 月分	59.28月分	勤続35年	47.5 月分	59.28月分
	最高限度額	59.28月分	59.28月分	最高限度額	59.28月分	59.28月分
	その他の加算措置 定年前早期退職特別措置（2 %～20%加算）			その他の加算措置 定年前早期退職特別措置（2 %～20%加算）		

（平成16年11月 1 日現在）

勤務時間外 手当	区 分	支給総額	職員 1 人当り 支給 年 額	主な増減理由
	平成14度	23,851千円	182千円	山形県議会議員選挙、小国町議会議員選挙、山形県議会議員補欠選挙、衆議院議員総選挙執行による増
	平成15度	35,850千円	270千円	

（一般会計決算）

8 部門別職員数の状況（各年 4 月 1 日現在）

区 分	職 員 数（人）			対前年増減数（人）		
部 門	平成14年	平成15年	平成16年	平成14年	平成15年	平成16年
一 般 会 計	131	128	125	5	△ 3	△ 3
水道・病院会計等	85	86	85	1	1	△ 1
合 計	216	214	210	6	△ 2	△ 4

9 特別職の報酬等の状況（平成16年 4 月 1 日現在）

区 分	月 額	区 分	平成16年度支出割合
給 料	町 長 810,000円	期末手当	6 月期 1.60ヵ月分
	助 役 630,000円		12月期 1.70ヵ月分
	収入役 570,000円		計 3.30ヵ月分
	教育長 560,000円		
報 酬	議 長 310,000円	議 長	6 月期 1.60ヵ月分
	副議長 250,000円		12月期 1.70ヵ月分
	議 員 235,000円		計 3.30ヵ月分

（注）
表中の給料月額のうち、平成16年 4 月から平成17年 3 月までの間、町長10%、助役 5 %、収入役及び教育長 3 %、それぞれ減額して支給しています。（収入役は 9 月21日以降廃止）

10 定員管理適正化計画の数値目標及び進行状況

①定員適正化目標

平成19年度を目標年次とし、平成15年度の職員数から 5 %程度減少させるものとします。

②定員適正化手法の概要

一般行政部門については、効率性の追求と不要不急事務の整理統合を図ります。
企業職部門については、住民サービスの視点に立った企業としての費用対効果の検証を進めます。
技能労務部門については、必要最小限の職員数を確保しながら、民間委託の推進を図ります。

③定員管理適正化計画の年次進行状況の概要

区 分	平成15年度 1 年目	平成16年度 2 年目
一般行政	134	132
企 業 職	69	69
技能労務	11	9
合 計	214	210
減少率		△1.9

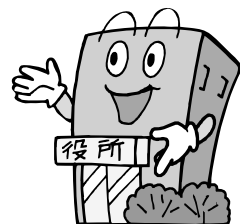
※各年度とも 4 月 1 日現在の職員数です。

町職員給与のあらまし

町職員の給与などの実態について、町民の皆さんに理解していただくために、そのあらましをお知らせいたします。

町では、第三次小国町行財政改革大綱に基づき、計画的な定員管理と給与の適正化を図ることとし、特殊勤務手当の見直しや時間外勤務の削減、55歳昇給停止などを実施し、総人件費の抑制に努めています。

※町職員の給与は、国の制度に準じており、議会の審査を経て条例で定めています。なお、内容は、主に一般会計（水道・病院事業を除く）の状況についてまとめています。



1 人件費の状況（平成15年度一般会計決算）

住民基本台帳人口 (平成16年3月31日)	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費率(B/A)	14年度の人件費率
			うち職員給	うち職員給	うち職員給
10,010人	6,132,591千円	303,025千円	1,059,614千円	17.3%	16.0%
			687,884千円	11.2%	10.4%

(注) 人件費には、特別職（町長、助役、収入役、教育長、議会議員など）に支給される給料、報酬等を含みます。

2 職員給与費の状況（平成16年度一般会計当初予算）

職員数 (A)	給与費				1人当たりの給与費 (B/A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
129人	466,977千円	77,551千円	183,962千円	728,490千円	5,647千円

(注) 職員手当には、退職手当を含みません。

3 職員の平均給料月額及び平均年齢の状況（平成16年4月1日現在）

区分	小国町		国	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	298,200円	39歳4月	327,555円	40歳2月
技能労務職	286,400円	47歳6月	283,384円	47歳9月

(注) 職種区分・数値は、平成16年公務員給与実態調査に基づくものです。

4 職員の初任給の状況（平成16年4月1日現在）

区分		小国町	国
		初任給	初任給
一般行政職	大学卒	170,700円	170,700円
	高校卒	138,800円	138,800円
技能労務職	高校卒	136,000円	136,000円

5 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（平成16年4月1日現在）

区分		経験年数10年以上15年未満	経験年数15年以上20年未満	経験年数20年以上25年未満
一般行政職	大学卒	255,400円	320,500円	365,500円
	高校卒	221,100円	286,200円	338,400円
技能労務職	高校卒	213,400円	247,200円	—

(注) 経験年数とは、卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合は、採用後の年数をいいます。

6 一般行政職の級別職員数の状況（平成16年4月1日現在）

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	
標準的な職務内容	主事補 技師補	主事 技師	主任	係長	主査	課長補佐	課長	課長	計
職員数	5人	25人	17人	23人	16人	13人	10人	2人	111人
構成比	4.5%	22.6%	15.3%	20.7%	14.4%	11.7%	9.0%	1.8%	100%
参考	前年の構成比	4.4%	25.6%	12.4%	19.5%	18.6%	8.0%	9.7%	1.8%

(注) 1級区分は、町の給与条例によるものです。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名です。

3 一般行政職には、水道事業職員・税務関係職員・福祉職相当職員などは含みません。

今年は

「酉年」

平成十七年は酉年です。十二支の動物の中で、唯一の鳥類です。

干支の「酉」は「ニワトリ」のこと。単に鳥というとニワトリ（鶏）を思い浮かべる人も多く、ニワトリは人間と最もなじみの深い鳥といえます。ニワトリ（鶏）に関することわざや慣用句は、あまり聞きません。「鶏口となるも牛後

となるなかれ」は、「鳥のような小さな組織でもその頭となることのほうがよい」の意味。小さくとも勇ましい鶏の姿が思い浮かびます。

一方、「鳥」に関することわざ・慣用句としては、「籠の鳥」、「空飛ぶ鳥も落とす（飛ぶ鳥を落とす）」、「二石二鳥」、「閑古鳥が鳴く」などいくつかあります。

また、ニワトリといえば卵です。卵そのものを調理したものや、パンや菓子など卵を原材料として用いている食品を含めれば、卵が私たちの食



卓を飾らない日はないといってもいいでしょう。その卵を日本人は、一人あたり年間三百個以上消費しており、これは世界でもトップクラスです。ニワトリには随分お世話になっ

編集後記

紙面の都合で紹介できませんでしたが、玉川小中学校の冬季寄宿舎「玉川寮」の開舎式にうかがいました。県内でも小中学生が一緒にひと冬過ごす唯一の寄宿舎。寮監を務める小嶋建男さんは、毎年、寮生活を収めたアルバムを子どもたち一人ひとりに贈っています。

この冬も小嶋さんのカメラには、成長する子どもたちの様子が収められています。春には、体も心もひと回り大きくなった六人に出会えることを楽しみにしながら、玉川寮を後にしました。（井上）

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

小国小坂町	渡部	終平	（重ユ）	美カ
緑町	青木	蒼空	（千）	春人
兵庫館	三島	蘭夢	（博直）	子彦
小国小坂町	安部	飛竜	（輝玉）	樹広
小国町	遠藤	日和	（知恵）	樹美
大宮	安部	雄大	（治真）	樹秋
岩井沢	和田	愛奈	（弘千）	

結婚おめでとうございます。

（伊佐領 高橋 竜司
幸 町 渡部 宏 美）

おくやみ申し上げます。

叶水	渡部	孝之助	(89)
あけぼの	大平	スエノ	(90)
綱木箱口	戸嶋	はるゑ	(89)
幸町	鈴木	達司	(76)
今市	永井	春子	(79)
小国小坂町	小池	英隆	(86)
尻無沢	須貝	トヨ子	(64)
小国小坂町	丹龍	藏	(80)
岩井沢	原田	斗星	(89)

人口のぐんき

人口	男…4,906人(+4)
	女…5,155人(+2)
	計…10,061人(+6)
世帯数	3,313世帯(+8)
	平成16年11月30日